

■概要（適用範囲）

家具（収納ユニット、テーブル、いす及びスツール）を評価するために規定された試験方法です。特殊な家具および特定分野で使用する家具については、規定されている以外の試験を追加する必要もあります。

■強度試験の定義

静的試験

家具が、通常加わり得る最大の力のもとで、家具としての機能を発揮できる十分な強度を備えていることを確認するために、重負荷を数回加える試験。

衝撃試験

ときどき加わる急激な力のもとで、家具の強度を評価する試験。

耐久性試験

長期間にわたる使用中に反復的に起こる動きを模擬的に作り、その状況のもとで家具の強度を評価する試験。

【参考】用途と試験区分について

用途	試験区分				
	1	2	3	4	5
家庭用		● 寝室	● リビング ダイニング		
オフィス用			● 事務用 会議用 応接用		
学校用			● 教室用		
公共施設用				● 図書館 病院 空港	

※試験区分1～3は主に個人が使用する家具が対象。
※試験区分4～5は主に不特定多数の人が使用する家具が対象。

家具 – 収納ユニット – 強度と耐久性の試験方法 JIS S 1200:2012

1N=0.1019kgf

試験	単位 期間	試験区分 ¹⁾			増分
		レベル1	レベル2	レベル3	
6.1.3 棚板のたわみ試験	kg/dm ² 1週間	1	1.5	2	+0.5
7.1.2.1 開き戸への垂直荷重試験	質量(kg) 10回	10	20	30	+10
7.1.2.2 開き戸への水平荷重試験	力(N) 10回	50	60	70	+10
7.1.4 開き戸の耐久性試験	サイクル(回)	20,000	40,000	80,000	×2 ²⁾
7.5.2 引出しの強度試験	力(N) 10回	100	200	300	+100
7.5.3 引出しの耐久性試験	サイクル(回)	20,000	40,000	80,000	×2 ²⁾
6.4.1 構造及び骨組の強度試験	力(N) 10回	200	300	450	+150

¹⁾ 旧規格(JIS S 1200:1998)の区分3は現規格(JIS S 1200:2012)のレベル2に相当する。
²⁾ 特殊用の収納ユニットのための参考値

家具 – テーブル – 強度と耐久性の試験方法 JIS S 1205:1998

1N=0.1019kgf

試験	単位 期間	試験区分				
		1	2	3	4	5
7.1 垂直力試験						
7.1.1 主作業面	力(N) 10回	500	750	1,000	1,250	2×900 ³⁾
7.1.2 補助作業面	力(N) 10回	125	250	350	500	750
7.1.3 持続垂直力試験	kg/dm ² 1週間	1.0	1.0	1.5	2.0	2.5
7.2 水平力試験 (100kgまでの釣り合いの荷重)	力(N) 10回	175	300	450	600	900
7.3 水平面の衝撃試験	落下高さ(mm) 10回	—	80	140	180	240
7.4 落下試験	落下高さ(mm) 10回	100	150	200	300	600

³⁾ この試験では、中心間距離が560mmの2点負荷とする。

家具 – いす及びスツール – 強度と耐久性の試験方法 JIS S 1203:1998

1N=0.1019kgf

試験	単位 期間	試験区分				
		1	2	3	4	5
7.1 座面の強度試験	力(N) 10回	—	1,100	1,300	1,600	2,000
7.2 背もたれの強度試験	力(N) 10回	—	410	560	760	760
釣り合わせのために 座面に加える力	力(N)	—	1,100	1,300	1,600	2,000
7.3 ひじ部の静的水平力試験	力(N) 10回	200	300	400	600	900
頭もたせの静的水平力試験	力(N) 10回	—	200	300	400	500
7.4 ひじ部の静的垂直力試験	力(N) 10回	300	700	800	900	1,000
7.5 座面の耐久性試験	サイクル(回) 座面に加える力 950N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000
7.6 背もたれの耐久性試験	サイクル(回) 背もたれに加える力 330N 座面に加える力 950N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000
7.7 脚部の静的前方強度試験	力(N) 10回	300	375	500	620	760
釣り合わせのために 座面に加える力	力(N)	780	780	1,000	1,250	1,800
7.8 脚部の静的側方強度試験	力(N) 10回	250	300	390	490	760
釣り合わせのために 座面に加える力	力(N)	780	780	1,000	1,250	1,800
7.9 底部の対角強度試験	力(N) 10回	125	250	375	500	620
7.10 座面の耐衝撃性試験	落下高さ(mm) 10回	—	140	180	240	300
7.11 背もたれの耐衝撃性試験	高さ(mm) (角度)	70 (20)	120 (28)	210 (38)	330 (48)	620 (68)
7.12 ひじ部の耐衝撃性試験	高さ(mm) (角度) 10回	70 (20)	120 (28)	210 (38)	330 (48)	620 (68)

7.13 落下試験は省略